

## DC5 純正ブレンドの弱点を克服するキャリパー!

インギング APP事業部  
TEL042-513-3307

APP Brake Caliper Kit [for DC5 TYPE R]

価格▶17万6400円(チタンカラーは+2万1000円)



## 違和感なく踏めて、リニアにコントロールできるキットだ

「まったく違和感なく踏むことができる。チューンドブレーキはやたらに剛性ばかり上げて、かえってコントロールしづらくなっているものが多いけれど、これは踏力に対するトルク感がリニアに立ち上がる。パッドの効きと合わせて、しっかりコントロールができる。ユーザーサイドを意識したブレーキだ」

テスター  
山路慎一

## テスト車両はミュルサンヌDC5

今回の試乗車はミュルサンヌのユーザーカー。APEX N1 ダンパーをベースにオリジナルの減衰力特性を与えた足まわりはF8kg/mm R11kg/mmのスプリングを組み込み、ラジアルタイヤを想定した仕様となっている。オーナーのスキルとともに仕様を成長させていくセッティング法にはファンが多い。

ミュルサンヌ TEL055-979-8439  
静岡県田方郡函南町畑毛59  
<http://www.mulsanne.co.jp/>

摩擦係数の高いパッドに対応するべくボディを強化しながら、アルミ鍛造することで重量を純正比+200gに抑える。バックプレートの小加工するだけで装着が可能となっている



キットにはフロント・ブレーキパッドも付属される。またAPPとしては、カシメ部分が弱いといわれる純正ホースから、自社のブレーキラインへ交換することを推奨している



純正ブレンドはオイルラインがキャリパー内にあり、キャリパーが開くとシールからフルードが漏れる危険性がある。OHしても性能が足らなければ要交換だ

## アナタのブレンド古くなっていませんか?

いまでも根強い人気を持つインテグラ・タイプR (DC5)。とくに価格がこなれてきた現在は、これをサーキット用マシンとして購入候補に入れている読者も多いだろう。

そんなときは、ひとつキャリパーにも注目してみよう。APPからも発売されたこのキットは、わかりやすくいうと純正ブレンドよりも高性能で、低価格な代替えキット。純正はパッドが別売りで、左右合わせると20万円以上の価格になってしまいが、こちらはパッド込みで17万6400円という逸品なのだ。

そのボディはスポーツパッドの高い摩擦熱にも耐えるアルミ製鍛造(純正+200g)。ピストンサイズも純正ブレンドとほぼ同等だから、タッチに違和感がない。当然ホイールも、DC5にはベストの17インチを履くことができる。

またオイルラインをアウター化しているのもひとつの特徴。というのも純正ブレンドのオイルラインはインナータイプ。スポーツパッドやハイグリップタイヤでブレーキ温度が上がると、最悪キャリパーが開いてフルードが漏れるという悪癖があるのだ。中古でその素性がよくわからなかったり、サーキット走行を繰り返して変色しきったようなキャリパーだとOHしてもいまひとつ性能が戻らない(キャリパーがすでに開いている可能性が高い)なんて場合は、APPの青キャリパーを試してみるのもひとつの解決法。ブレーキは走りの要だ。